

## 楽器用アクセサリー試奏

取材：西之原薫／人物撮影：松川泰治

## MALTA × 北原雅彦

楽器が本来持っている性能を最大限に引き出し、演奏性の向上を追求した管楽器アクセサリーを提案するブランド、B.AIR(ビー・エアー)。このビー・エアーのサククス用リガチャーと、音質改善剤ナノ・リキッドの効果をも、MALTA(sax)と北原雅彦(tb)という第一線で活躍するふたりのトップ・プレイヤーが検証。感想を語ってもらった。



ビー・エアー



# B.AIR

INSTRUMENTAL ACCESSORIES

## トップ・ミュージシャンふたりによる B.AIR楽器用アクセサリー試奏

### リードを効率良く振動させる シームレス・リガチャー

——今回MALTAさんには、ビー・エアーのシームレス・リガチャーを試していただきました。このリガチャーの特徴、吹かれた感想を教えてください。

**MALTA**：このリガチャーには、メイヤー・タイプ、セルマー・タイプの2種類があるんですね。今日僕は、メイヤーのマウスピースで、メイヤー・タイプを試しました。大きな特徴は、まず従来のもののようなリードをネジで締めるタイプではなく、手作業で作られた、つなぎ目のないシームレス構造であること。そして、リードを固定させる部分は3点支持になっています。取り付け方は、マウスピースにしっかりと入れて、3点が真ん中にくるようにする、それだけなのでとても簡単です。

吹いてみたところ、音がまとまるんですね。抵抗は少し増すかもしれないけれど、音が締まります。今日はヴァンドーレン青箱の2番で吹いてみたけれど、もしかしたらもう少し硬いリードの方が相性がいいのかもしれない。

また、マウスピースに対してリガチャーを強くしっかりと締めるのと締めないのとでも違

うでしょうね。それによってリードの振動が違ってくるので、どういう雰囲気であくのか、何を吹くのかにもよるでしょう。上をガンガン張るものを吹くのか、あるいは真ん中くらいで吹くのかでは振動が違いますから。——価格とクオリティの関係はいかがですか？

**MALTA**：良い音はお金には変えられないですからね。これを作る労力、手間もかかっていますから、それを考えても、この価格なら安いんじゃないですか？ それに、このゴールドのデザイン。手作りの感じがよく出ているし、外見がエジプトの文化みたいで面白いですね。

僕は、すでに鳴っているリードを使って試

したので、少し締められている感じがしたけれど、新しいリードを制して鳴らしてくれる感じがします。たとえば、ヴァンドーレンの2半とか3番、ラヴォーズのミディアム・ハードくらいの、バリバリに鳴る新しいリードで試してみるといいと思います。暴れるリードでも抑え込んでくれて、音をクッと締めて鎮めてくれるリガチャーです。

### 音質改善剤“ナノ・リキッド”の 驚きの効果を検証

——画期的な音質改善剤“ナノ・リキッド”を、今回はすでに愛用されている北原さんと、初めて試されるMALTAさんのおふたりに、その使用感を伺いたいと思います。

ナノ・リキッドには成分の違いで3つの種類があり、炭素系の超微粒子が吟味されたST、銅の超微粒子が吟味されたCU、そして貴金属のコロイド溶液や炭素系の超微粒子を溶かし込んだEXと、それぞれに特性がある



## MALTA

1949年9月19日、鳥取県倉吉市生まれ。中学でプラスバンドに参加。73年東京芸術大学音楽科卒。同年8月、ボストンのパークリー音楽大学に入学。76年卒業後1年半同校で教鞭を執る。77年ニューヨークへ。マーサ・エリントン、チャールズ・ミンガスらと共演。79年、ライオネル・ハンブトン・オーケストラにリード・アルト・サククス奏者兼コンサート・マスターとして迎えらる。82年帰国。以後自己のグループを中心に活動を続けて現在に至る。  
ホームページ：http://www.malta-jazzclub.com/



そうですが、実際に使われた感想はいかがですか？

**北原**：僕は、1年ほど前から、ナノ・リキッドSTを使っています。これを塗ると、塗っていないときと比べて吹奏感が楽になるというのかな、そして素直に楽器が振動している感じがします。

僕は2カ所に塗っていますが、トロンボーンだったら、マウスピースのシャンクの部分やスライドの取り付けネジなど、金属同士が接合する部分に使うことでその効果が発揮されるんですね。毎回演奏の度に、古いリキッドを拭きとってから塗り直しています。僕は、おとめ座のA型で几帳面なため(笑)、毎回楽器を掃除していますが、なかにはまったく掃除をしない人もいますから、使うときにはお手入れだけは心掛けたいですね。

**MALTA**：今日初めてこのナノ・リキッドSTを試してみました、変わりますね。リキッドを塗った場所は、リガチャーの留めネジと、ネックのジョイント部分にジョイント・スクリュー、そして譜面立てのネジですが、吹奏感が楽で、空気が1本になったような感じがします。今までは何も付けていない状態で、それを抵抗と感じていた部分があったんですが、これを付けるといつもの感覚よりもスッと滑る感じがするので、一瞬、「吹き過ぎてるかもしれない」と思いました。

**北原**：塗ることで、金属同士の間にあった微小な隙間が埋まってキツくなるのかと思ったらそうじゃなくて、不思議なことに楽器の素直な振動が音になっている感じがします。

——北原さんには、今回EXのタイプも使っていたいただきましたが、普段使われているSTと比べていかがですか？

**北原**：これはいいですね、楽です。細かいパッセージを吹いても粒立ちが良く、それだけ効率よく鳴っているということでしょう。リップ・スラーもやりやすくなって、音の跳躍もすごく当たりやすいです。

**MALTA**：なるほど！ いろんな時代が来たね(笑) 理屈的には、金属の接合部分をナノの金属粒子が間を埋めるわけだから、音が振



## 北原雅彦

東京スカパラダイスオーケストラの一員として1989年にインディーズ・デビュー。スカをベースに、ロック、ジャズ、ファンクなどの要素を吸収したスタイリッシュなサウンドでファンを増やし、90年代を代表するバンドのひとつに数えられるまでに、3月に通算13枚目となるアルバム「パーフェクト・フューチャー」がリリースされた。また、スカバラの活動と併せて北原はジャズ・プレイヤーとの交流も多く、近年では早坂紗知(as.ss)minga、佐藤春樹(tb)ホーンズスライダーズ、mitch(tp)などの録音に参加している他、自身のバンドでも活動している。

ホームページ：<http://www.tokyoska.net/index.html>

トができます。

**北原**：そうなんです、それがないと逆に楽しなくなります。

——今の楽器を使われるまでには、いろいろな楽器を使われてきたのですか？

**北原**：そうですね、新しい楽器もヴィンテージのものもいろいろ吹きました。自分自身の趣味もだんだん変わってきましたし。

**MALTA**：僕はこのセルマーのプラチナの楽器を10年くらい吹いていますが、高校時代に一番最初に吹いたのは、セルマーのマークVIで、今でもその楽器は持っています。

昔の音楽というのは、昔の楽器で吹かれた昔の音ですが、かといって、新しい楽器では吹けないのかというと、僕はそうでもないと思っています。楽器は、最後は“出会い”だろうと思うんですよ。自分に合った楽器でいい音が出れば、それでいいんじゃないかなと思います。

**北原**：自分のイメージした音が出れば。

**MALTA**：そうそう、最終的にはね。僕の場合は、新しい楽器、古い楽器全部合せて、出会った楽器が良ければそれでいいと思っています。初心者や、これから楽器を買おうとする人は、自分の好きな先生や自分より上手い人に選んでもらうべきだと思います。

**北原**：それが一番早いんですよね。そして、自分の出したい音のイメージがちゃんとあるかどうか。これは持っていた方がいいと思いますね。

**MALTA**：最後は“耳”だからね。自分に聴こえている音を出す、というかね。

**北原**：吹いたときに、「あ、吹きやすいな」とか、そういう第一印象が一番大事なんじゃないですかね、“ビビッとくる”というか。男女の出会いもそうですからね(笑)。楽器も、第一印象が大切だと思います。 ■

動するときその部分の空気抵抗がなくなるわけで、音響学的に言って正しいですね。オーディオ関係の技術を応用しているというのもうなずけます。

もうひとつのCUタイプは、オイル自体に粘りがあって、音にも粘りが生まれるそうですが、僕の楽器はプラチナで、部分的なパーツに銅を使ってみたりして実験しています。銅は柔らかいかな？ 銅には銅の意味がありますね。

**北原**：そして、管楽器に貼るビー・エアーのスウィング・チップも試してみました、これはシンバル状の渦を削り出して付けてあるというアクセサリーで、楽器の発音部分に近い場所に貼ると、効果が出ると思います。

## MALTA&北原雅彦 楽器へのこだわり

——MALTAさんと北原さんは、楽器についてどのような考えやこだわりをお持ちですか？

**北原**：昔は、ある程度抵抗のある楽器の方がよかったんですけど、今は楽に吹いて鳴る楽器にシフトされてきました。

**MALTA**：僕も同じです。30代のときは元気があったから、8番のマウスピースだろうが、どんなに硬いリードだろうが何でも吹き倒していました。若いときは、エネルギーがあるじゃないですか。だんだんと年輪を重ねてくるうちに、なるべく楽に軽く吹いて鳴る楽器、そこに行き着きますね。だけど、楽器の抵抗感はある程度あった方が、息のサポー

## B.AIR Line Up

問：逸品館(06-6644-9101 <http://www.b-air.jp/>) 総販売元：セレクト・インターナショナル

### Seamless Ligature

価格：¥22,050円(アルト・サクソ用)  
メイヤー用/セルマー用各



### Nano Liquid ST

価格：5cc：6,510円(写真)  
3cc：4,515円、0.5cc：1,890円



### Nano Liquid CU

価格：3cc：3,885円



### Nano Liquid EX

価格：3cc：6,195円



### Swing Chip

価格：¥1,575

